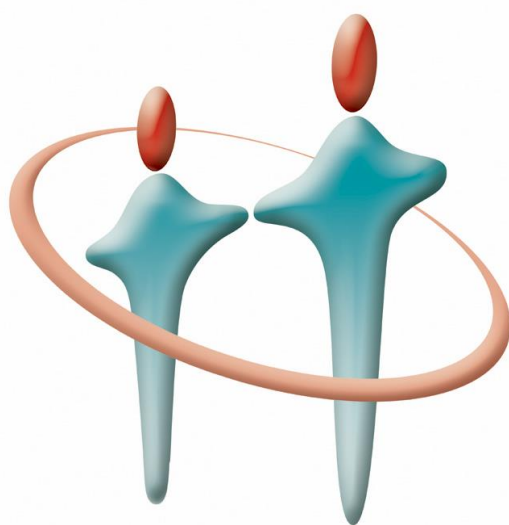


2023 年度事業報告/ 活動報告および決算報告



公益社団法人

日本人間ドック・予防医療学会

目 次

(事業報告)

I. 序章(事業計画、役員／社員／会員数等)	2
------------------------------	---

(公益目的事業)

II. 第64回 日本人間ドック学会学術大会(開催概要、主要プログラム)	5
--	---

III. 学会誌等(和文誌、英文誌)	13
--------------------------	----

IV. 人間ドック認定医制度(人間ドック認定医 第25回認定、第20回更新)	13
--	----

V. 人間ドック健診専門医制度(認定試験、指導医・研修施設 認定医数)	13
---	----

VI. 人間ドック健診施設機能評価(認定医施設数、サーベイヤー研修会、Ver.4.0 受審準備セミナー)	14
--	----

VII. 研修会・人材育成活動	15
-----------------------	----

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	15
---------------------------------	----

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	15
----------------------------	----

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成	16
--------------------------	----

VIII. 統計調査する事業	17
----------------------	----

1. 健診施設実態調査(2023年度)の実施

2. がん症例実施調査(2021年度)の実施

(収益事業等)

IX. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業	17
--	----

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業

3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約

X. その他の事業(相互扶助等事業)	17
--------------------------	----

1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

(決算報告) 2024年3月31日 現在

1. 貸借対照表・貸借対照表内訳表	1
-------------------------	---

2. 正味財産増減計算書・正味財産増減計算書内訳表・財務諸表に対する注記	3
--	---

3. 財産目録・附属明細書	7
---------------------	---

事業報告

<事業報告>

I. 序 章

1.事業計画

1)学術大会開催に関する事項

第 64 回日本人間ドック学会学術大会
開催期日： 2023年9月1日(金)～2日(土)
WEB開催： 2023年10月2日(月)～20日(金) 19日間
会 場： Gメッセ群馬、高崎芸術劇場
テーマ： 「人生100年時代を支える予防医療の進歩」
学術大会長:村上 正巳 (群馬大学 名誉教授)

2)研修会等開催に関する事項 (Web による配信を基本とする)

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会 (学術大会時現地開催と Web による配信)
- ②人間ドック認定医研修会 (Web による配信)
- ③人間ドック健診施設機能評価 Ver.4.0 受審準備セミナー開催 (Web による配信)
- ④人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催 (Web による配信)
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催
(現地開催と Web による配信)
- ⑥遺伝学的検査アドバイザー研修会 (学術大会時現地開催と Web による配信)
- ⑦健診事務職育成セミナー (Web による配信)
- ⑧人間ドックの日記念セミナー (現地&後日 WEB による配信)
- ⑨健診施設支援セミナー (年数回 WEB による配信)

3)人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

(本学会単独事業)

- ①日本人間ドック学会認定医の認定/更新

(日本総合健診医学会との合同事業)

- ①人間ドック健診専門医試験の実施
- ②人間ドック健診専門医の認定/更新
- ③人間ドック健診指導医の (暫定) 認定/更新
- ④人間ドック健診研修施設の (暫定) 認定/更新
- ⑤セルフトレーニング問題の実施 他

4)健診施設機能評価に関する事項

- ①健診施設機能評価の審査・認定
- ②健診施設支援
- ③サーベイヤの教育・研修
- ④Ver.5.0 作成に向けた検討
- ⑤機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析
- ⑥全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

5)人間ドック健診情報管理指導/遺伝学検査アドバイザーに関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定/更新
- ②遺伝学的検査アドバイザーの認定

6)集合契約に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導の集合契約 (集合契約A)
- ②風しんの抗体検査および風しんの第 6 期の定期接種に係る集合契約

7)健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との人間ドックの指定契約
- ②その他

8)広報活動に関する事項

- ①学会誌「人間ドック」VOL.38 NO.1～NO.5 発刊予定
- ② 英文誌「Ningen Dock International」 VOL.11 NO.1 発刊
* 英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする
- ③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が構築したJ-STAGEに登載する
- ④メディア等を利用して国民に向けた意見広告等の広報活動を積極的に展開する

9)委員会活動に関する事項

I. 事業活動

- ① 健診施設機能評価・支援事業委員会
 - ・ Ver.5.0 作成WG
 - ・ Ver.4.0 運営WG
- ② 健診情報管理指導士育成事業委員会
- ③ 人間ドック学会認定医制度委員会
- ④ 人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会合同)
 - ・ 試験問題検討・作成（問題集改訂）小委員会(合同)
 - ・ 認定小委員会(合同)
 - ・ 研修会検討小委員会(合同)
 - ・ 施行規則細則改定小委員会(合同)
 - ・ 研修プログラムカリキュラム検討作成小委員会(合同)
- ⑤ 遺伝学的検査アドバイザー育成事業委員会
- ⑥ 編集委員会
- ⑦ 広報委員会
- ⑧ 健診施設実態調査委員会

II. 健診・予防医療施設の質の向上と発展を支援する活動

- ⑨ 健診施設支援事業委員会
- ⑩ 健診事務職の育成に関する検討会
- ⑪ がん検診実態調査委員会
- ⑫ 健診保健師・看護師の育成に関する委員会

III. 健診・予防医療のシステムや有用性などを研究する活動

- ⑬ 女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会
 - ・ 女性健診予防医療WG
- ⑭ 高齢者のための健診・予防医療のあり方検討委員会
- ⑮ 健診判定・指導マニュアル作成委員会
 - ・ 心電図WG、腹部超音波WG、PSA検査WG
- ⑯ 人間ドック・健診標準化委員会
- ⑰ 内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会
- ⑱ 人間ドック・健診イノベーション創造委員会
 - ・ ゲノムワイド遺伝学的検査WG/AI実装WG
 - ・ リキッドバイオプシー及び新規検査検討WG
 - ・ 睡眠健診WG
- ⑲ 健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会
- ⑳ 検査安全実施基準作成委員会

IV. 健診・予防医療の制度を検討する活動

- ㉑ 健診予防医療制度に関する対策会議
 - ・ 職域のがん検診のあり方に関するWG

V.その他の活動

- ②学術大会運営委員会
- ③健診・予防医療統計調査研究委員会
- ④社員選任/役員選定委員会
- ⑤倫理・利益相反委員会

その他必要とされる委員会は逐次開催する。

10)統計・調査に関する事項

- ①施設会員実態調査（2021 年度）実施の検討
- ②がん症例実態調査(2021 年度)の実施
- ③学術委託研究に関わる研究公募（継続および新規）
- ④その他
 - ・厚労省等研究事業等に積極的に参画

11)関連する学会（団体）との積極的な参画と交流活動

- ・健診団体連絡協議会
- ・日本医学健康管理評価協議会
- ・日本専門医機構
- ・日本高血圧学会
- ・日本CT検診学会
- ・全国労働衛生団体連合会
- ・MEJ（一般社団法人Medical Excellence JAPAN）
- ・日本人間ドック健診協会
- ・日本病院会健診事業推進委員会
- ・日本適合性認定協会臨床検査室認定委員会

12)その他

- ・日本医学会加盟への働き掛け
- ・健診標準フォーマットの普及啓発
- ・国際モダンホスピタルショーへの参加

2. 役員／社員／会員数等

①役員数等 理事長 1名
 副理事長 1名
 理事 32名
 監事 3名
 (名誉会員) 19名

②社員数 240名(内役員は36名)

③個人会員／施設会員／賛助会員数(2024年3月31日現在)

A会員(医師)	6,191名
B会員(医師以外)	446名
C会員(施設(医療機関))	1,820施設
S会員(企業など)	33団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数(2024年3月31日現在)

認定医交付人数	6,447名
専門医交付人数	2,169名
研修施設数	319施設
指導医数	1,077名
暫定研修施設(指導医)数	112施設(86名)

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	10,136名
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名
・健診施設機能評価認定数	509施設
・遺伝学的検査アドバイザーの累積人数	624名
・人間ドック指定数	362施設

(公益目的事業)

Ⅱ. 第64回日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

1.開催日程(ハイブリッド開催)

【現地開催】 2023年9月1日(金)～2日(土)

【Web開催】 2023年10月2日(月)～20日(金) 19日間

2.開催会場 Gメッセ群馬、高崎芸術劇場

3.学術大会長 村上 正巳(群馬大学 名誉教授)

4.メインテーマ 人生100年時代を支える予防医療の進歩

5.開催内容

学術大会長講演	1セッション(1演題)
理事長講演	1セッション(1演題)
特別講演	3セッション(3演題)
教育講演	14セッション(14演題)
ジョイントシンポジウム	2セッション(6演題)
シンポジウム	4セッション(18演題)
特別企画	2セッション(13演題)
ワークショップ	4セッション(17演題)
委員会企画	8セッション(24演題)

Under40事務職営業職グループワーク	1セッション (1演題)
遺伝学的アドバイザー研修会	1セッション (3演題)
人間ドック健診認定医・専門医研修会	1セッション (3演題)
一般演題 (プレナリー含む)	95セッション (390演題)
(口頭発表276演題(内プレナリー5演題)、ポスター発表68演題(内 プレナリー5演題)、ポスタープレゼンテーション46演題)	
共催セミナー	20セッション (30演題)
計 157セッション (514演題)	

6.参加登録者数 ※10月20日 (金) 最終 現在 5,631名 (内有料4,777名)
 オンライン参加登録 4,405名 (会員医師2,871名・会員非医師1,176名・非会員358名)
 現地当日参加登録 372名 (会員医師132名・会員非医師180名・非会員60名)
 招待者 254名
 共催セミナー企業 (21社) 105名
 展示企業 (99社) 495名

7.現地会場参加人数(概数)
 9月1日(金) 約1,800名
 9月2日(土) 約1,500名 2日間延べ 3,300名

8.市民公開講座
 ウェルカムコンサート：「山中千尋トリオ」
 講演：堀 ちえみ 「舌がんステージ4から希望のステージへ」
 参加者 約600名

2. 主要プログラム

■ 開会式

■ 理事長講演

「学会名変更と今後の方向性」

座長：村上 正巳 (群馬大学 名誉教授)

演者：荒瀬 康司 (日本人間ドック学会 理事長／

虎の門病院付属健康管理センター 顧問／戸塚ロイヤルクリニック)

■ 学術大会長講演

「予防医療と臨床検査」

座長：石坂 裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

座長：村上 正巳 (群馬大学 名誉教授)

■ 特別講演1

「2型糖尿病の予防医療の進歩と展望」

座長：荒瀬 康司 (虎の門病院付属健康管理センター 顧問／戸塚ロイヤルクリニック)

演者：門脇 孝 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長)

■ 特別講演2

「わが国のがん検診の課題と方向性 ―人間ドックの役割―」

座長：井上 和彦 (淳風会健康管理センター センター長)

演者：祖父江友孝 (大阪大学大学院医学系研究科環境医学 教授)

■ 特別講演3

「探知犬による新型コロナウイルス感染症と慢性疼痛の検出」

Scent dogs detecting COVID-19 and chronic pain :

A triple-blinded randomized validation trial and real-life alarming

座長：村上 正巳 (群馬大学 名誉教授)

演者：Anna Hielm-Björkman (Faculty of Veterinary Medicine, University of Helsinki)

■ 日本高血圧学会 ジョイントシンポジウム

「人間ドック・予防医療における血圧管理」

座長：岸 拓弥 (国際医療福祉大学)

石坂 裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

演者：「人間ドック・予防医療における血圧管理：日本人間ドック学会と日本高血圧学会の連携の重要性」

松本 知沙 (東京医科大学病院 健診予防医学センター／東京医科大学病院 循環器内科))
「人間ドックにおける動脈硬化対策として高血圧対策を越えて示すべきこと」

福井 敏樹 (医療法人如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 予防医療センター 院長)
ディスカッション:

梶田 出 (京都医療センター臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部／
医療法人財団康生会 康生会クリニック内科／三菱京都病院 人間ドックセンター)

■ 日本動脈硬化学会 ジョイントシンポジウム

「人間ドック・予防医療に「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版」を活用する」

座長: 斯波真理子(大阪医科大学 循環器センター 特務教授)

梶田 出(京都医療センター臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部／
医療法人財団康生会 康生会クリニック内科／
三菱京都病院 人間ドックセンター)

演者: 「家族性高コレステロール血症の診断と治療について

—動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 ではこうなりました—」

斯波真理子(大阪医科大学 循環器センター 特務教授)

「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版」のエッセンス —人間ドックでの活用も含めて—
塚本 和久(帝京大学 医学部 内科学講座 教授)

「脂質異常症治療中の健診受診者の脂質管理と健診施設の役割」

梶田 出 (京都医療センター臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部／
医療法人財団康生会 康生会クリニック内科／
三菱京都病院 人間ドックセンター)

「動脈硬化性疾患予防を目的とした包括的動脈硬化リスク評価より健診結果判定を模索する」

岸本 憲明 (東海大学 医学部 総合診療学系 健康管理学／

東海大学 医学部 附属病院 健診センター)

■ シンポジウム 1

「健診 (検診) における遺伝学的検査の活用 —現状と将来展望—」

座長: 野村 文夫 (ちば県民保健予防財団遺伝子診療科部長／千葉大学名誉教授)

田口 淳一 (東京ミッドタウンクリニック 院長)

演者: 「健診 (検診) 施設におけるがん発症ハイリスク者への対応

遺伝性腫瘍症候群を中心とする遺伝外来の試み」

稲田 麻里 (公益財団法人 ちば県民保健予防財団／

最成病院 ヘルスケアセンター／千葉大学医学部附属病院検査部)

「アルコール代謝遺伝子検査を利用した胃がん検診」

浅沼 清孝 (宮城県対がん協会)

「健診における尿酸異常症の遺伝学的検査の活用の可能性」

松尾 洋孝(防衛医科大 分子生体制御学講座)

「予防医学への遺伝学的検査の活用」

右田 王介(聖マリアンナ医科大学 臨床検査医学 教授)

「健診情報とゲノム情報の統合による疾患予防システムの構築」

村上 善則(東京大学 医科学研究所 ゲノム予防医学社会連携研究部門)

■ シンポジウム 2

「人間ドックにおける AI への展望」

座長: 足立 雅樹(埼玉医科大学予防医学センター 客員教授)

田口 淳一(東京ミッドタウンクリニック 院長)

演者: 「人間ドックにおける画像診断 AI と大規模言語モデルを用いた生成 AI について」

中田 典生(東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 人工知能医学研究部)

「脳ドック検診における AI 導入の期待」

井川 房夫 (島根県立中央病院 脳神経外科 部長／島根大学／広島大学)

「腎評価における AI の活用について」

井上 勉(埼玉医科大学 医学部 腎臓内科 教授)

「日本人間ドック学会会員に対する AI アンケート調査結果及び今後の展望」

田口 淳一 (東京ミッドタウンクリニック 院長)

■ シンポジウム 3

「人間ドックと睡眠健診」

座長: 杉森 裕樹 (大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授)

柳沢 正史 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構)

演者：「わが国における睡眠健診の必要性」
内村 直尚（久留米大学）
「人はなぜ眠るのか？～睡眠は健康の根幹である～」
柳沢 正史（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構）
「人間ドックにおける睡眠検査の意義」
田口 淳一（東京ミッドタウンクリニック）
「睡眠と糖尿病について」
加藤 公則（新潟大学大学院 歯学総合研究科 生活習慣病予防・健診医学講座
／新潟県労働衛生医学協会）

■ シンポジウム 4

「第4次対がん戦略事業における職域がん検診はどうなるのか」
座長：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科 主任教授）
佐々木 寛（医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 婦人科部長）
演者：「職域がん検診はどう変わるか、変えていくか？」
職域におけるがん検診に関するマニュアルに基づく検診実施機関の精度管理」
齊藤 英子（国際医療福祉大学三田病院 予防医学センター／
国際医療福祉大学三田病院 女性腫瘍センター）
「職域におけるがん検診の課題と方向性」
高橋 宏和（国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部）
「第4期がん対策推進基本計画について」
原澤 朋史（厚生労働省健康局がん・疾病対策課 がん対策推進官）
「職域がん検診 保険者の立場から」
川畑知江子（ジャパンディスプレイ健康保険組合）
「人間ドックはがん検診を実施しているのか」
石坂 裕子（三井記念病院 総合健診センター）

■ ワークショップ 1

「精検受診率および精検結果把握率を向上させる工夫」
座長：石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）
演者：吉岡 貴子（社会医療法人抱生会 丸の内病院 健診センター）
遠藤 恵子（淳風会健康管理センター）

■ ワークショップ 2

「人間ドックにおける各種がん検診の最前線」
座長：井上 和彦（一般財団法人淳風会健康管理センター長）
演者：「人間ドックで運用する任意型低線量CT検診の効果と将来の可能性」
中川 徹（株式会社日立製作所日立健康管理センタ）
「人間ドックにおける各種がん検診の最前線 乳癌検診」
櫻井 健一（日本歯科大学附属病院 乳腺内分泌外科）
「子宮頸がん検診の最新情報」
佐々木 寛（徳洲会千葉病院 婦人科）
「人間ドックに大腸CT検査は必要か」
永田 浩一（福島医科大学消化器内科、永田内科・消化器医院）
「胃がん検診の最前線」
井上 和彦（一般財団法人淳風会健康管理センター長）

■ ワークショップ 3

「高齢者健診の課題とさらに続く未来への指針」
座長：福井 敏樹（医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック予防医療センタ 院長）
赤池 淳（JA北海道厚生連 札幌厚生病院 健康管理科 健診センター長）
演者：「ロコモフレイル外来」における運動器関連評価及び高齢者健診への応用の可能性」
松井 康素（国立長寿医療研究センター ロコモフレイルセンター センター長）
「高齢者人間ドックの生活習慣病対策として取り組むべき課題～動脈硬化対策を中心に～」
福井 敏樹（医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック 院長）
「若年、中高年から壮年、老年に向けた将来型人間ドック」
米井 嘉一（同志社大学生命医科学部アンチエイジングリサーチセンター 教授）
「人生100年時代を楽しむための体力」
中田 由夫（筑波大学体育系 准教授）

■ワークショップ4

「腹部超音波検査精度向上のための工夫」

座長：田中 幸子（公益財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター顧問）

岡庭 信司（飯田市立病院消化器内科 診療技幹兼内視鏡センター長）

演者：「腹部超音波検診判定マニュアルの施設内導入と活用方法について」

齊藤 弥穂（高の原中央病院人間ドックセンター センター長）

「腹部超音波検診判定マニュアルの診断精度について」

千葉 祐子（公益財団法人北海道労働保健管理協会 臨床検査部）

「当院人間ドックにおける腹部超音波検査精度向上のための工夫について」

西村 重彦（住友病院外科）

「検診腹部超音波検査におけるカテゴリー分布とがんの陽性的中率」

杉本 安莉（公益財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター）

「当センターにおける腹部超音波検査の精度管理と教育の現状」

小山 大樹（日赤熊本健康管理センター）

「腹部超音波検診に対する外部評価の現状と課題」

岡庭 信司（飯田市立病院消化器内科 診療技幹兼内視鏡センター長）

■特別座談会

「人間ドック施設機関における産業保健活動を考える」

司会：武藤 繁貴（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長）

発表者：森 晃爾（日本産業衛生学会 理事長）

森口 次郎（京都工場保健会）

源氏 富貴子（一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 健康づくり推進部）

■教育講演1

「随時尿を用いた塩分排泄量測定について」

座長：廣村 桂樹（群馬大学大学院医学系研究科 腎臓・リウマチ内科学分野 教授）

演者：加藤 公則（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 生活習慣病予防・健診医学講座 教授
／新潟県労働衛生医学協会）

■教育講演2

「第4期特定健診・特定保健指導の方向性について」

座長：武藤 繁貴（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部聖隷健康診断センター 所長）

演者：林 芙美（女子栄養大学栄養学部 食生態学研究室 准教授）

■教育講演3

「女性の生殖と健康における卵巣予備能検査の意義」

座長：佐々木 寛（医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 婦人科部長）

演者：岩瀬 明（群馬大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野 教授）

■教育講演4

「消化器内視鏡診療におけるパラダイムシフト：

AIは内視鏡診療をどこまで変えるか？」

座長：浦岡 俊夫（群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学分野 教授）

演者：斎藤 豊（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院内視鏡センター長・内視鏡科科長）

■教育講演5

「高齢者のフレイル・サルコペニアと予防対策」

座長：岩男 泰（慶應義塾大学 医学部 予防医療センター 特別招聘教授）

演者：小川 純人（東京大学 生殖・発達・加齢医学専攻加齢医学講座 准教授）

■教育講演6

「循環器内科からみた生活習慣病介入の重要性」

座長：倉林 正彦（群馬大学 名誉教授）

演者：石井 秀樹（群馬大学大学院医学系研究科循環器内科学分野 教授）

■教育講演7

「認知症の早期診断」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野 教授）

演者：井桁 之総（虎ノ門病院健康認知症科 部長）

■教育講演8

「眼底検査の現状と今後の展望」

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

演者：中野 匡（東京慈恵会医科大学病院眼科 主任教授）

■教育講演 9

「我が国における前立腺がん検診の歴史・現状・将来」

座長：鈴木 和浩（群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野 教授）

演者：伊藤 一人（黒沢病院 病院長・予防医学研究所 所長）

■教育講演 10

「肺がん検診ガイドライン 2022 年版」への改訂：CT 検診を中心に

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

演者：佐川 元保（東北医科薬科大学大学院 腫瘍疫学 教授）

■教育講演 11

「COVID-19 パンデミック、AMR サイレント・パンデミックから何を学ぶか」

座長：那須 繁（特定医療法人財団 博愛会 理事長）

演者：館田 一博（東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授/

東邦大学医療センター大森病院 感染管理部部長）

■教育講演 12

「健康長寿の秘訣は“歩き方の黄金律”にあった ～「中之条研究」20 年の成果～」

座長：曾根 博仁（新潟大学医学部 血液・内分泌・代謝内科 教授）

演者：青柳 幸利（東京都健康長寿医療センター研究所運動科学研究室長）

■教育講演 13

「睡眠の謎に挑む『眠気』の正体を求めて」

座長：杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）

演者：柳沢 正史（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長）

■教育講演 14

「最近注目されるようになった消化管疾患・人間ドックで注意すべきこと」

座長：鎌田 智有（川崎医科大学 健康管理学 教授）

演者：井上 和彦（一般財団法人淳風会健康管理センター長）

■ 特別企画

1. 厚労科研 新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究

座長：杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）

中山 健夫（京都大学京都大学大学院医学研究科健康情報学分野）

演者：「オンライン健診に精度はどこまで必要か？」

立道 昌幸（東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学）

「オンライン診療の現状と健診における可能性」

原 聖吾（株式会社 MICIN）

「新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えの影響」

武藤 繁貴（聖隷福祉事業団保健事業部聖隷健康診断センター）

「被扶養者におけるオンライン健診の活用に対する意識調査」

高谷 典秀（医療法人社団同友会）

「COVID-19 の産業保健活動への影響とウィズ/アフターコロナの産業保健」

福田 洋（順天堂大学先端予防医学・健康情報学講座）

「健診フィールドにおける「指先微量血液検査（郵送健診）」実証研究と分析」

窪寺 健（日本医師会総合政策研究機構 健診標準フォーマット管理事務局）

「2024 年度からの第 4 期特定健診・特定保健指導の概要」

中山 健夫（京都大学京都大学大学院医学研究科健康情報学分野）

2. 厚労科研 がん検診の精度管理における指標の確立に関する研究

—人間ドックにおけるがん疑い症例の登録と評価—

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

高橋 宏和（国立がん研究センターがん対策研究所 室長）

演者：「がん検診の精度管理と指標について」

高橋 宏和（国立がん研究センターがん対策研究所 室長）

「全国がん登録やレセプトを用いた偽陰性例の把握」

祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科環境医学 教授）

「対策型胃がん検診としての胃内視鏡検査における精密検査と要否判定の考え方について」

加藤 勝章（宮城県対がん協会がん検診センター 所長）

「がん症例集計円滑化作業工程の構築」

和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

「日本人間ドック学会におけるがんデータの提出と集計」

鎌田 智有（川崎医科大学 健康管理学 教授/日本人間ドック学会 がん検診実態調査委員会）

「健診施設機能評価事業における悪性疾患の精度管理」
石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）

■委員会企画1 健診保健師・看護師の育成に関する委員会

「やっぱり楽しい健診看護 2023」

「人間ドックにおける内視鏡看護～事前案内から検査まで～」（対象：ラダーⅡ、Ⅲ）

座長：新 智文（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 副院長）

ファシリテーター：光畑 桂子（公益財団法人筑波メディカルセンター つくば総合健診センター副看護部長）

※講演&グループワーク

■委員会企画2 健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会

「学術委託研究と人材発掘プロジェクト報告」

座長：福井 敏樹（医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック予防医療センタ 院長）

森山 優（医療法人 大宮シティクリニック 副所長）

演者：「高齢軽度糖代謝異常者の血糖変動調査-CGM（持続血糖測定装置）の血糖管理ツールとしての有用性」

渡部 和子（市立芦屋病院 人間ドックセンター長）

「タッチパネル式認知機能評価法（TDAS）を用いた認知症検診の

有用性に関する検討対面式神経心理検査との比較検証」

松本 ルミネ（東京大学医学部附属病院予防医学センター 助教）

「任意型大腸がん検診における大腸カプセル内視鏡検査の普及に向けた検討」

伊藤 恭子（東京慈恵会医科大学附属病院総合健診・予防医学センター新橋健診センター 准教授）

「リモートによる生活習慣指導 WEB システムの新規開発及び指導方法の研究」

藤川 るみ（医療法人グランドタワーメディカルコート 副所長）

■委員会企画3 がん検診実態調査委員会

「腹部超音波検診判定マニュアル改訂後の現状と展望」

座長：鎌田 智有（川崎医科大学 健康管理学 教授）

田中 幸子（公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター 顧問）

演者：「人間ドックにおけるがん集計～2020 年度の成績も含めて～」

鎌田 智有（川崎医科大学 健康管理学 教授）

「腹部超音波検診判定マニュアルに関する実態調査報告」

齊藤 弥穂（高の原中央病院人間ドックセンター センター長）

「膵胆道癌の早期診断における腹部超音波検診判定マニュアルの役割」

岡庭 信司（飯田市立病院消化器内科 診療技幹兼内視鏡センター長）

■委員会企画4 女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会

「乳がん検診におけるマンモグラフィ、超音波検査法、視触診の適正な選択法」

座長：佐々木 寛（一般社団法人日本婦人科がん検診学会 理事長／

医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院 婦人科部長）

植松 孝悦（静岡県立静岡がんセンター 乳腺画像診断科 生理検査科部長）

演者：「科学的根拠に基づいた乳がん検診を：利益の証明されていない検診の実施は不利益のみを与える」

笠原 善郎（福井県済生会病院 副院長）

「職域における乳がん検診の現状と今後の課題」

小松原 祐介（健康保険組合連合会 組合サポート部長）

「あなたに合った乳がん検診とは」

中井 麻木（牧田総合病院 乳腺外科/レディース健診クリニック Bene 浅草）

「がん対策としての乳がん検診のあり方について」

雑賀 公美子（JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター総合医療情報センター

／国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部）

■委員会企画5 高齢者のための健診・予防医療のあり方検討委員会

「高齢者のための健診構想からウェルビーイング健診が生まれた理由-ウェルビーイング健診が目指すもの-」

座長：加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授／

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事）

鎗木 淳一（医療法人社団慈誠会 人間ドック会館クリニック 院長）

演者：「人間ドックにおける骨血管関連の臨床的意義」

鎗木 淳一（医療法人社団慈誠会 人間ドック会館クリニック 院長）

「高齢者のための健診構想からウェルビーイング健診が生まれた理由

-ウェルビーイング健診が目指すもの-」

吉田 稔（日本赤十字社熊本健康管理センター 所長）

「ドック受診者全例を対象としたロコモ度テスト導入から7年の経過」

森山 優（医療法人 大宮シティクリニック 副所長）

「高齢者における歯科健診」

佐藤 保 (岩手県歯科医師会 会長)

「新潟県労働衛生医学協会におけるウェルビーイング健診の実施内容と、
全国のアナケート調査の報告について」

加藤 公則 (新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授／
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事)

■委員会企画6 健診施設機能評価・支援事業委員会

「受けてよかった機能評価」

座長：石坂 裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

新 智文 (JA 北海道厚生連帯広厚生病院 副院長)

村田 雅彦 (秋田赤十字病院 健診部 部長)

2022 年度認定受賞施設 新規賞・優秀賞 施設発表

〈新規賞〉社会福祉法人 恩賜財団 京都済生会病院健診センター

〈優秀賞〉社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷予防検診センター

■委員会企画7 健診情報指導士育成事業委員会

「みんなの保健指導」

座長：武藤 繁貴 (社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長)

演者：「全員指導のための保健師確保と人材育成～1 人から 30 人へ～」

光畑 桂子 (公益財団法人筑波メディカルセンター つくば総合健診センター看護部長)

■委員会企画8 内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会

「人間ドック内視鏡の標準化をめざして」

座長：井上 和彦 (一般財団法人淳風会健康管理センター長)

演者：「人間ドック上部消化管内視鏡検査実施基準 2023 年」

井上 和彦 (淳風会健康管理センター／

日本人間ドック学会・内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会)

「上部消化管内視鏡検査におけるがんのスクリーニング」

鎌田 智有 (川崎医科大学 健康管理学)

「上部消化管内視鏡スクリーニングにおけるリスク判断」

間部 克裕 (淳風会健康管理センター)

「人間ドックにおける消化器内視鏡検査の感染症対策」

満崎 克彦 (済生会熊本病院 予防医療センター)

■日本人間ドック健診協会主催 U-40 事務職営業職グループワーク

(主催：NPO 法人日本人間ドック健診協会／共催：日本人間ドック学会 健診事務職育成事業委員会)

担当委員会 東日本地区人間ドック健診施設経営研究会

ファシリテーター 内田 健作 (医療法人社団こころとからだの元氣プラザ)

サポーター 渡邊 紀章 (医療法人社団 同友会)

廣瀬 篤史 (公益財団法人東京都予防医学協会)

大畠 利彦 (公益財団法人東京都予防医学協会)

■ 閉会式

プレナリーセッション最優秀口演・ポスター (学術大会賞) 表彰式

■ 2023 年度第2 回人間ドック健診専門医研修会

■ 第6 回遺伝学的検査アドバイザー研修会

Ⅲ. 学会誌等

1. 和文誌「人間ドック」 (年5回)

VOL. 38	NO. 1	2023. 6	(原著論文集/学術大会開催案内)
VOL. 38	NO. 2	2023. 8	(学術大会プログラム・抄録集)
VOL. 38	NO. 3	2023. 9	(原著論文集)
VOL. 38	NO. 4	2023. 12	(原著論文集/学術大会開催案内)
VOL. 38	NO. 5	2024. 3	(原著論文集/学術大会開催案内)

2. 英文誌「Ningen Dock International」 (年1回)

VOL. 11	NO. 1	2024. 3	(原著英文誌)
---------	-------	---------	---------

Ⅳ. 人間ドック認定医制度

1. 第25回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、2023年4月1日以降の認定者数は249名であり、認定医交付総数として6,447名となった。

2. 第20回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度(更新)は、2023年4月1日以降の更新者数は300名であり、更新者総数は5,315名である。

Ⅴ. 人間ドック健診専門医制度

1. 2023年度人間ドック健診専門医認定試験 (日本総合健診医学会との合同11回目)

日時：2023年10月15日(日) 13:00～15:00

会場：品川フロントビル 地下1階会議室(東京都港区港南2-3-13)

受験対象者：日本人間ドック学会80名(日本総合健診医学会：21名)両学会合計101名

試験内容：試験問題集等 計100問出題 100分間 マークシート方式による筆記試験

◆認定者数：日本人間ドック学会80名(日本総合健診医学会：21名)両学会合計101名
認定期間は、2024年4月1日～2029年3月31日 5年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数(ドック学会累計)：2,169名】

2. 2023年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

◆指導医：ドック学会40名(総合健診医学会：5名)両学会合計45名

◆研修施設：ドック学会10施設(総合健診医学会：3施設)両学会合計13施設

◆暫定指導医：ドック学会15名(総合健診医学会：4名)両学会合計19名

◆暫定研修施設：ドック学会17施設(総合健診医学会：4施設)両学会合計21施設
委嘱認定期間は、2024年4月1日～2029年3月31日 5年間をもって委嘱終了とする。

VI. 健診施設機能評価

2024 年 3 月末現在、699 施設からの受審申請があり、509 施設を認定した。内、更新辞退した施設は 80 施設あり、現在有効な認定施設は 429 施設である。

1. 健診施設機能評価 認定施設数

【認定施設の分布】※2024 年 3 月末現在

北海道	12	東京都	66	滋賀県	3	香川県	5
青森県	2	神奈川県	24	京都府	17	愛媛県	5
岩手県	2	新潟県	7	大阪府	31	高知県	2
宮城県	10	富山県	4	兵庫県	18	福岡県	18
秋田県	4	石川県	4	奈良県	3	佐賀県	0
山形県	3	福井県	4	和歌山県	2	長崎県	4
福島県	3	山梨県	1	鳥取県	1	熊本県	5
茨城県	5	長野県	16	島根県	2	大分県	3
栃木県	8	岐阜県	7	岡山県	13	宮崎県	1
群馬県	7	静岡県	9	広島県	12	鹿児島県	4
埼玉県	15	愛知県	27	山口県	2	沖縄県	5
千葉県	20	三重県	8	徳島県	2	海外	3

(1) サーベイヤ研修会

サーベイヤのスキルアップと交流を目的とし、毎年研修会を開催している。

2023 年度は下記のとおり実施した。

- ・日時 : 2023 年 8 月 31 日 (木) 13:00~16:00
- ・会場 : ホテルメトロポリタン高崎
- ・参加費 : 無料 ※交通費補助金支給あり
- ・内容 : Ver.5.0 の説明とグループワーク
- ・参加者 : 62 名 (医師 20 名 / 事務 36 名 / 看護系 6 名)

(2) Ver.4.0 受審準備セミナーWEB 配信

機能評価の受審予定施設を対象に、Ver.4.0 受審準備セミナーを WEB 配信した。

- ・配信期間 : 2023 年 4 月 3 日 (月) ~ 2024 年 3 月 29 日 (金)
- ・視聴料 : 10,000 円
- ・申込数 : 19 施設

VII. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第62回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 程：現地 2023 年 9 月 3 日(日)／WEB 2023 年 9 月 15 日(金)～9 月 30 日(土)

開催方法：現地開催（高崎芸術劇場）と WEB オンデマンド配信

参加者数：1,777 名（認定医等 1,094 名・専門医 683 名、うち総合健診専門医 51 名）
うち現地参加は 136 名

「安全安心な人間ドックのために・トラブル事例の検討」

「健診で見逃してはいけない皮膚疾患（デルマドローム等について）」

「臨床検査ガイドライン JSLM2021（採血時の注意やデータの見方等）」

●第63回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

配信期間：2023 年 11 月 16 日(木)～11 月 30 日(木)

方 法：WEB オンデマンド配信

参加者数：1,211 名（認定医等 804 名・専門医 407 名、うち総合健診専門医 34 名）

「前立腺がんの診断と治療：新しい話題」

「脂肪肝の新概念:MAFLD/MASLD」

「人間ドック健診専門医が知っておきたい肺がん検診の現状と課題」

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会

(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	配信期間	方 法	認定者	内 訳
第 40 回	2023 年 6 月 2 日(金) ～7 月 3 日(月)	オンデマンド 配信	356 名	医師：49 名 保健師：247 名 管理栄養士：60 名 (修了者：81 名)
第 41 回	2024 年 1 月 19 日(金) ～2 月 19 日(月)	オンデマンド 配信	249 名	医師：47 名 保健師：156 名 管理栄養士：46 名 (他修了者：31 名)

【2023 年度 オンデマンド配信版プログラム】

『特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み』

『生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識』

『エネルギー収支を改善するための保健指導』

『食生活に関する保健指導の実際』

『身体活動に関する保健指導の実際』

『特定健診・特定保健指導における保険者との連携』

『行動変容に関する理論と実践』

『喫煙・飲酒習慣者への保健指導』

『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』

『人間ドック健診におけるがん検診-その現状と展望』

演習：保健指導方法の研究

『初回面接のビデオ学習による演習』

『初回面接の記録について』

『継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）』

○受講者からの質問への回答と演習のフィードバック配信（後日配信）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会
(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	開催日程/配信期間	参加者数	内 訳
第 68 回	2023 年 7 月 8 日 (土) 会場：品川フロントビル会議室	123 名	医師：32 名 保健師：70 名 管理栄養士：21 名
第 69 回	2023 年 11 月 7 日 (火) ～11 月 24 日 (金)	980 名	医師：296 名 保健師：502 名 管理栄養士：182 名
第 70 回	2024 年 1 月 26 日 (金) ～2 月 13 日 (火)	632 名	医師：141 名 保健師：379 名 管理栄養士：111 名 看護師：1 名

【2023 年度 プログラム】

『第 4 期特定健診・特定保健指導の最新情報』

『『ドリンク』を用いた節酒指導』

『健診における糖尿病、耐糖能異常の診かた・考え方』

『事例検討』

(演習テーマ：生活習慣改善に関心はあるが、リバウンドを繰り返す人への保健指導)

(事例提供)

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク 2 対象者への支援方法について
- ・事例における食生活に関するポイント講義
- ・事例における身体活動・運動に関するポイント講義
- ・事例における喫煙に関するポイント講義
- ・事例のその後と演習のまとめ

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成

認定対象 (医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師)

参加登録者：218 名

●第 63 回 遺伝学的検査アドバイザー研修会 (第 64 回日本人間ドック学会学術大会特別企画)

配信期間：2023 年 10 月 2 日 (月)～20 日 (金)

方法：現地開催、オンデマンド配信

プログラム

1. HBOC 未発症者のフォローアップの現状
2. 多因子疾患遺伝子検査と健康診断の統合：進化したアプリの利用
3. 検査結果開示のロールプレイ AI の利用も視野に入れて

4. 健診事務職の育成 (基礎編)

回	受付・配信期間	参加者数	備考
第 1 回	2023 年 4 月 3 日～2023 年 6 月 30 日	575 名	C542 名、B12 名、A18、 その他 0 名
第 2 回	2023 年 8 月 1 日～2023 年 10 月 30 日	786 名	C725 名、B35 名、A25、 その他 0 名
第 3 回	2023 年 12 月 1 日～2024 年 2 月 29 日	599 名	C513 名、B22 名、A19、 その他 45 名

※C：施設会員、B：非医師個人会員、A：医師個人会員、その他：賛助会員等

VIII. 統計調査に関する事業

(1) 健診施設実態調査(2023年度)の実施(継続調査)

<第3回調査>

実施期間：2023年12月16日～2024年2月21日 対象期間：2023年末までの影響

調査回収率：62.8%

(2) がん症例実態調査(2021年度)の実施

調査依頼期間：2023年8月1日～2023年11月30日

調査対象：健診施設機能評価認定施設

調査回収率：60.8%

(収益事業等)

IX. 健診施設他団体等への紹介や指定等に関する事業

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2024年3月末現在の指定施設は362施設である。

2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業

○令和5年度特定健康診査・特定保健指導集合契約A参加保険者及び参加健診施設

◆健康保険組合連合会

・北海道新聞社健康保険組合 他

◆全国健康保険協会(協会けんぽ)

◆一般社団法人共済組合連盟(国家公務員共済組合)

衆議院共済組合・参議院共済組合・厚生労働省共済組合・裁判所共済組合

会計検査院共済組合・厚生労働省第二共済組合・林野庁共済組合・日本郵政共済組合

◆一般社団法人地方公務員共済組合協議会(地方公務員共済組合)

地方職員共済組合・公立学校共済組合・警察共済組合

東京都職員共済組合等の市町村職員共済組合 他

◆日本私立学校振興・共済事業団

◆全国土木建築国民健康保険組合

◆全国建設工事業国民健康保険組合

◆全国歯科医師国民健康保険組合

◆近畿税理士国民健康保険組合

◆岡山県建設国民健康保険組合

◆福島県

○集合契約A参加健診施設数

・日本人間ドック学会 1,306施設

・日本病院会 388施設

3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約

2024年3月末現在の契約参加施設は、2,034施設である。

X. その他の事業(相互扶助等事業)

1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度より新規事業として、人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから学術委託研究を公募しており、2023年度は4研究を採用。

決算報告

2024年3月31日 現在

貸借対照表

2024年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	245,746,252	224,837,167	20,909,085
未収金	300,000	1,898,362	△ 1,598,362
前払金	8,627,028	8,584,935	42,093
立替金	47,600	176,708	△ 129,108
貯蔵品	3,788,400	5,324,000	△ 1,535,600
流動資産合計	258,509,280	240,821,172	17,688,108
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的保有特定資産	100,000,000	100,000,000	0
特定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) その他固定資産			
建物	2,033,446	943,489	1,089,957
什器備品	3,988,048	6,147,558	△ 2,159,510
ソフトウェア	26,400	132,000	△ 105,600
その他固定資産合計	6,047,894	7,223,047	△ 1,175,153
固定資産合計	106,047,894	107,223,047	△ 1,175,153
資産合計	364,557,174	348,044,219	16,512,955
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,428,613	4,067,314	14,361,299
未払消費税等	3,561,400	0	3,561,400
前受金	14,060,000	12,420,000	1,640,000
預り金	1,155,944	442,681	713,263
賞与引当金	6,633,380	3,733,181	2,900,199
流動負債合計	43,839,337	20,663,176	23,176,161
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,185,257	2,578,907	606,350
固定負債合計	3,185,257	2,578,907	606,350
負債合計	47,024,594	23,242,083	23,782,511
III 正味財産の部			
1. 基 金			
基 金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	246,447,767	253,717,323	△ 7,269,556
一般正味財産合計	246,447,767	253,717,323	△ 7,269,556
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
正味財産合計	317,532,580	324,802,136	△ 7,269,556
負債及び正味財産合計	364,557,174	348,044,219	16,512,955

貸借対照表内訳表

2024年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	24,546,374	4,053,224	217,146,654	0	245,746,252
未収金	300,000	0	0	0	300,000
前払金	8,073,702	25,100	528,226	0	8,627,028
立替金	0	0	47,600	0	47,600
貯蔵品	3,788,400	0	0	0	3,788,400
流動資産合計	36,708,476	4,078,324	217,722,480	0	258,509,280
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	0	100,000,000
特定資産合計	100,000,000	0	0	0	100,000,000
(2) その他固定資産					
建物	1,779,266	127,090	127,090	0	2,033,446
什器備品	950,653	0	3,037,395	0	3,988,048
ソフトウェア	26,400	0	0	0	26,400
長期預け金	0	0	71,211,903	△ 71,211,903	0
その他固定資産合計	2,756,319	127,090	74,376,388	△ 71,211,903	6,047,894
固定資産合計	102,756,319	127,090	74,376,388	△ 71,211,903	106,047,894
資産合計	139,464,795	4,205,414	292,098,868	△ 71,211,903	364,557,174
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	15,752,332	160,569	2,515,712	0	18,428,613
未払消費税等	3,480,881	80,519	0	0	3,561,400
前受金	14,060,000	0	0	0	14,060,000
預り金	924,086	41,203	190,655	0	1,155,944
賞与引当金	5,373,038	265,335	995,007	0	6,633,380
流動負債合計	39,590,337	547,626	3,701,374	0	43,839,337
2. 固定負債					
退職給付引当金	2,580,058	127,410	477,789	0	3,185,257
長期預り金	71,084,813	127,090	0	△ 71,211,903	0
固定負債合計	73,664,871	254,500	477,789	△ 71,211,903	3,185,257
負債合計	113,255,208	802,126	4,179,163	△ 71,211,903	47,024,594
III 正味財産の部					
1. 基 金					
基 金	0	0	71,084,813	0	71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	26,209,587	3,403,288	216,834,892	0	246,447,767
一般正味財産合計	26,209,587	3,403,288	216,834,892	0	246,447,767
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(0)	(0)	(0)	(100,000,000)
正味財産合計	26,209,587	3,403,288	287,919,705	0	317,532,580
負債及び正味財産合計	139,464,795	4,205,414	292,098,868	△ 71,211,903	364,557,174

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用収益	5,000	5,000	0
特定資産受取利息	5,000	5,000	0
受取会費	119,770,000	116,664,000	3,106,000
個人会員受取会費	64,000,000	62,364,000	1,636,000
施設会員受取会費	54,780,000	53,310,000	1,470,000
賛助会員受取会費	990,000	990,000	0
事業収益	225,728,844	192,096,500	33,632,344
学術大会参加収益	53,206,000	47,412,000	5,794,000
学術大会展示出店料収益	23,687,544	22,836,000	851,544
学術大会共催セミナー収益	15,980,000	13,090,000	2,890,000
認定医・専門医研修会事業収益	31,475,000	29,600,000	1,875,000
専門医試験・認定事業収益	6,776,000	6,994,000	△ 218,000
認定医認定・更新事業収益	10,475,000	8,050,000	2,425,000
情報管理指導士研修認定事業収益	45,134,000	39,651,000	5,483,000
遺伝的検査アドバイザー事業収益	440,000	1,200,000	△ 760,000
機能評価審査・認定事業収益	26,650,000	20,750,000	5,900,000
指定事業収益	2,268,000	1,025,500	1,242,500
雑誌販売事業収益	1,026,500	1,488,000	△ 461,500
健診事業職員育成事業	8,610,800	0	8,610,800
受取補助金等	0	3,000,000	△ 3,000,000
受取補助金	0	3,000,000	△ 3,000,000
受取寄付金	4,499,500	1,625,000	2,874,500
受取寄付金	4,499,500	1,625,000	2,874,500
雑収益	9,110,394	12,583,146	△ 3,472,752
受取利息	626	1,189	△ 563
広告掲載料収益	3,694,600	5,719,000	△ 2,024,400
雑収益	5,415,168	6,862,957	△ 1,447,789
経常収益計	359,113,738	325,973,646	33,140,092
(2) 経常費用			
事業費	318,034,036	281,110,999	36,923,037
給料手当	53,988,410	44,439,807	9,548,603
法定福利費	6,901,325	6,713,755	187,570
退職給付費用	2,378,062	3,059,736	△ 681,674
旅費交通費	24,037,252	19,498,565	4,538,687
通信運搬費	14,060,338	13,091,779	968,559
減価償却費	1,090,657	409,413	681,244
消耗品費	3,848,798	4,322,191	△ 473,393
印刷製本費	50,572,885	36,101,681	14,471,204
光熱水料費	557,348	790,682	△ 233,334
賃借料	34,357,719	29,271,690	5,086,029
会議費	6,409,296	1,777,816	4,631,480
諸謝金	14,264,509	14,281,669	△ 17,160
租税公課	5,720,600	4,390,700	1,329,900
委託費	96,179,521	99,079,302	△ 2,899,781
支払助成金	2,820,000	2,250,000	570,000
雑費	847,316	1,632,213	△ 784,897
管理費	44,234,330	35,130,558	9,103,772
給料手当	10,127,365	3,114,106	7,013,259
法定福利費	1,217,882	394,927	822,955
退職給付費用	419,658	179,984	239,674
福利厚生費	622,230	508,460	113,770
旅費交通費	11,395,150	6,838,404	4,556,746
通信運搬費	2,663,790	3,029,213	△ 365,423
減価償却費	1,826,364	2,843,540	△ 1,017,176
広告費	1,078,000	2,486,000	△ 1,408,000
消耗品費	1,431,035	1,890,156	△ 459,121
印刷製本費	1,338,919	1,395,524	△ 56,605
光熱水料費	98,357	46,510	51,847
賃借料	2,470,369	1,141,290	1,329,079
会議費	907,513	415,668	491,845
保険料	438,643	397,257	41,386
諸謝金	50,000	25,000	25,000
租税公課	95,900	72,330	23,570
委託費	7,176,441	9,676,299	△ 2,499,858
渉外費	152,558	39,480	113,078
雑費	724,156	636,410	87,746
経常費用計	362,268,366	316,241,557	46,026,809
当期経常増減額	△ 3,154,628	9,732,089	△ 12,886,717
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	4,114,928	0	4,114,928
資産除売却損	4,114,928	0	4,114,928
当期経常外増減額	△ 4,114,928	0	△ 4,114,928
当期一般正味財産増減額	△ 7,269,556	9,732,089	△ 17,001,645
一般正味財産期首残高	253,717,323	243,985,234	9,732,089
一般正味財産期末残高	246,447,767	253,717,323	△ 7,269,556
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	317,532,580	324,802,136	△ 7,269,556

正味財産増減計算書内訳表

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位：円)

I. 一般正味財産増減の部		科目	公益目的事業会計							収益事業等会計				法人会計	内部取引 控除	合計
			①学術大会・国際学会	②学会誌	③技能検定・資格認定(認定医・専門医・機能評価)	④資格付与(情報管理・食生活改善指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	②その他事業	共通	小計			
【1. 経常増減の部】																
(1) 経常収益																
1. 特定資産運用益	1601	特定資産受取利息	0	0	0	0	0	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
2. 受取会費	1101	個人会員受取会費	0	0	0	0	0	32,000,000	32,000,000	0	3,036,047	0	3,036,047	28,963,953	0	64,000,000
	1102	施設会員受取会費	0	0	0	0	0	27,390,000	27,390,000	1,386,320	0	0	1,386,320	26,003,680	0	54,780,000
	1103	賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	495,000	495,000	0	0	0	0	495,000	0	990,000
3. 事業収益	1201	学術大会参加収益	53,206,000	0	0	0	0	0	53,206,000	0	0	0	0	0	0	53,206,000
	1202	学術大会展示出店料収益	23,687,544	0	0	0	0	0	23,687,544	0	0	0	0	0	0	23,687,544
	1203	学術大会共催セミナー収益	15,980,000	0	0	0	0	0	15,980,000	0	0	0	0	0	0	15,980,000
	1204	認定医・専門医研修会事業収益	0	0	31,475,000	0	0	0	31,475,000	0	0	0	0	0	0	31,475,000
	1205	専門医試験・認定事業収益	0	0	6,776,000	0	0	0	6,776,000	0	0	0	0	0	0	6,776,000
	1206	認定医認定・更新事業収益	0	0	10,475,000	0	0	0	10,475,000	0	0	0	0	0	0	10,475,000
	1207	情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	0	45,134,000	0	0	45,134,000	0	0	0	0	0	0	45,134,000
	1208	遺伝的検査「ドバイ」事業収益	0	0	0	440,000	0	0	440,000	0	0	0	0	0	0	440,000
	1209	機能評価審査・認定事業収益	0	0	26,650,000	0	0	0	26,650,000	0	0	0	0	0	0	26,650,000
	1210	指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	2,268,000	0	0	2,268,000	0	0	2,268,000
	1211	雑誌販売事業収益	674,000	28,500	324,000	0	0	0	1,026,500	0	0	0	0	0	0	1,026,500
	1212	国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1213	健診事務職員育成事業	0	0	8,610,800	0	0	0	8,610,800	0	0	0	0	0	0	8,610,800
4. 受取補助金等	1301	助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1302	補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 受取寄付金	1401	受取寄付金	4,499,500	0	0	0	0	0	4,499,500	0	0	0	0	0	0	4,499,500
	1402	受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 雑収益	1501	受取利息	325	0	0	0	0	0	325	0	0	0	0	0	301	626
	1502	広告掲載料収益	2,728,000	966,600	0	0	0	0	3,694,600	0	0	0	0	0	0	3,694,600
	1503	雑収益	47,518	334,370	294,000	0	1,500,000	0	2,175,888	3,035,430	0	0	3,035,430	203,850	0	5,415,168
[経常収益計]			100,822,887	1,329,470	84,604,800	45,574,000	1,500,000	59,890,000	293,721,157	6,689,750	3,036,047	0	9,725,797	55,666,784	0	359,113,738
(2) 経常費用																
1. 事業費	2101	給料手当	2,540,631	2,540,631	27,946,942	10,162,524	5,081,262	3,175,789	51,447,779	2,540,631	0	0	2,540,631	0	0	53,988,410
	2102	法定福利費	324,768	324,768	3,572,451	1,299,073	649,537	405,960	6,576,557	324,768	0	0	324,768	0	0	6,901,325
	2103	退職給付費用	111,909	111,909	1,230,996	447,635	223,818	139,886	2,266,153	111,909	0	0	111,909	0	0	2,378,062
	2104	福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2105	旅費交通費	7,191,377	1,233,250	10,619,606	1,591,456	178,960	3,062,823	23,877,472	0	159,780	0	159,780	0	0	24,037,252
	2106	通信運搬費	1,004,348	8,509,366	1,962,943	2,175,548	169,000	163,153	13,984,358	49,980	26,000	0	75,980	0	0	14,060,338
	2107	減価償却費	6,436	6,437	70,803	131,346	861,152	8,046	1,084,220	6,437	0	0	6,437	0	0	1,090,657
	2108	貯蔵品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2109	消耗品費	3,139,859	396,774	226,710	5	85,450	0	3,848,798	0	0	0	0	0	0	3,848,798
	2110	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2111	印刷製本費	2,744,243	17,332,581	20,494,274	9,563,423	168,712	60,179	50,363,412	209,473	0	0	209,473	0	0	50,572,885
	2112	光熱水料費	26,228	26,228	288,510	104,913	52,456	32,785	531,120	26,228	0	0	26,228	0	0	557,348
	2113	賃借料	22,186,273	301,198	5,005,751	2,442,110	639,795	3,481,394	34,056,521	301,198	0	0	301,198	0	0	34,357,719
	2114	会議費	5,081,922	0	319,596	134,618	3,600	869,560	6,409,296	0	0	0	0	0	0	6,409,296
	2115	保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2116	諸謝金	4,849,365	180,000	5,155,144	2,740,000	0	1,340,000	14,264,509	0	0	0	0	0	0	14,264,509
	2117	租税公課	2,348,473	31,027	2,064,033	1,111,185	36,573	0	5,591,291	129,309	0	0	129,309	0	0	5,720,600
	2118	委託費	55,439,910	7,204,560	7,997,912	18,302,939	1,952,500	5,242,179	96,140,000	12,389	27,132	0	39,521	0	0	96,179,521
	2119	支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	2,820,000	0	2,820,000	0	0	2,820,000
	2120	雑費	455,760	257,425	47,715	15,170	11,055	56,231	843,356	825	3,135	0	3,960	0	0	847,316
2. 管理費	2201	給料手当												10,127,365	0	10,127,365
	2202	法定福利費												1,217,882	0	1,217,882
	2203	退職給付費用												419,658	0	419,658

	2204	福利厚生費												622,230	0	622,230
	2205	旅費交通費												11,395,150	0	11,395,150
	2206	通信運搬費												2,663,790	0	2,663,790
	2207	減価償却費												1,826,364	0	1,826,364
	2208	広告費												1,078,000	0	1,078,000
	2209	消耗品費												1,431,035	0	1,431,035
	2210	修繕費												0	0	0
	2211	印刷製本費												1,338,919	0	1,338,919
	2212	光熱水料費												98,357	0	98,357
	2213	賃借料												2,470,369	0	2,470,369
	2214	会議費												907,513	0	907,513
	2215	保険料												438,643	0	438,643
	2216	諸謝金												50,000	0	50,000
	2217	租税公課												95,900	0	95,900
	2218	委託費												7,176,441	0	7,176,441
	2219	渉外費												152,558	0	152,558
	2220	雑費												724,156	0	724,156
〔経常費用計〕			107,451,502	38,456,154	87,003,386	50,221,945	10,113,870	18,037,985	311,284,842	3,713,147	3,036,047	0	6,749,194	44,234,330	0	362,268,366
■評価損益等調整前当期経常増減額			△ 6,628,615	△ 37,126,684	△ 2,398,586	△ 4,647,945	△ 8,613,870	41,852,015	△ 17,563,685	2,976,603	0	0	2,976,603	11,432,454	0	△ 3,154,628
	2810	基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2820	特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2830	投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〔評価損益等計〕			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常増減額】			△ 6,628,615	△ 37,126,684	△ 2,398,586	△ 4,647,945	△ 8,613,870	41,852,015	△ 17,563,685	2,976,603	0	0	2,976,603	11,432,454	0	△ 3,154,628
【2. 経常外増減の部】																
(1) 経常外収益																
	1910	資産売却益・資産受贈益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〔経常外収益計〕			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																
	2910	資産除売却損・資産減損損失等	0	0	3,872,000	0	0	212,562	4,084,562	15,183	0	0	15,183	15,183		4,114,928
〔経常外費用計〕			0	0	3,872,000	0	0	212,562	4,084,562	15,183	0	0	15,183	15,183		4,114,928
【当期経常外増減額】			0	0	△ 3,872,000	0	0	△ 212,562	△ 4,084,562	△ 15,183	0	0	△ 15,183	△ 15,183		△ 4,114,928
他会計振替前当期一般正味財産増減額			△ 6,628,615	△ 37,126,684	△ 6,270,586	△ 4,647,945	△ 8,613,870	41,639,453	△ 21,648,247	2,961,420	0	0	2,961,420	11,417,271		△ 7,269,556
■他会計振替額			1990	0	0	0	0	21,893,777	21,893,777	△ 2,961,420	0	0	△ 2,961,420	△ 18,932,357		0
【当期一般正味財産増減額】			△ 6,628,615	△ 37,126,684	△ 6,270,586	△ 4,647,945	△ 8,613,870	63,533,230	245,530	0	0	0	0	△ 7,515,086		△ 7,269,556
【一般正味財産期首残高】			△ 92,547,231	△ 528,394,946	△ 128,700,146	△ 91,575,726	△ 177,229,318	1,044,411,424	25,964,057	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	224,349,978		253,717,323
【一般正味財産期末残高】			△ 99,175,846	△ 565,521,630	△ 134,970,732	△ 96,223,671	△ 185,843,188	1,107,944,654	26,209,587	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	216,834,892		246,447,767

II. 指定正味財産増減の部

	受取補助金等							0					0			0
								0					0			0
	一般正味財産への振替額							0					0			0
【当期指定正味財産増減額】			0	0			0	0	0	0	0	0	0	0		0
【指定正味財産期首残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
【指定正味財産期末残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

III. 基金増減の部

■基金受入額	基金受入額															
■基金返還額	基金返還額															
【基金増減額】																
【基金期首残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,084,813		71,084,813
【基金期末残高】			0	0	0	0	0	0	0					71,084,813		71,084,813

【IV 正味財産期末残高】			△ 99,175,846	△ 565,521,630	△ 134,970,732	△ 96,223,671	△ 185,843,188	1,107,944,654	26,209,587	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	287,919,705		317,532,580
---------------	--	--	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	------------	------------	-------------	---	-----------	-------------	--	-------------

財務諸表に対する注記

- 1 重要な会計方針
- (1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物

定率法（ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備は定額法）

什器備品

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

15年

什器備品

4年～10年

② 無形固定資産

ソフトウェア

定額法
- (3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

- 2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高
- 特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	100,000,000
合 計	100,000,000	0	0	100,000,000

- 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
- 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	—	100,000,000	—
合 計	100,000,000	—	100,000,000	—

- 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	4,021,800	1,988,354	2,033,446
什 器 備 品	13,205,832	9,217,784	3,988,048
合 計	17,227,632	11,206,138	6,021,494

- 5 基金及び代替基金の増減額及びその残高
- 基金及び代替基金の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 金	71,084,813	0	0	71,084,813
基 金 計	71,084,813	0	0	71,084,813
合 計	71,084,813	0	0	71,084,813

財 産 目 録

2 0 2 4 年 3 月 3 1 日 現 在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	振替貯金 ：ゆうちょ銀行(10口座)	支払資金として使用	72,960,001
		普通預金 ：三井住友銀行麴町支店(3口座)	支払資金として使用	132,722,875
		定期預金 ：三井住友銀行麴町支店		30,063,376
		定額貯金 ：ゆうちょ銀行		10,000,000
	未収金	広告掲載料		300,000
	前払金	翌年度事務所賃料		627,495
		翌年度学術大会前払額		5,000,000
		翌年度研修・試験会場費等 翌年度その他経費等		2,565,431 434,102
立替金	職員社会保険料税等立替		47,600	
貯蔵品	機能評価認定プレート		3,788,400	
流動資産合計				258,509,280
(固定資産)				
特定資産	公的目的保有特定資産	定期預金：大和テキスト銀行	運用益を公的目的事業財源として使用している (公益目的保有財産)	100,000,000
その他固定資産	建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室（共用財産） 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	2,033,446
	什器備品	ノートパソコン 7台	公益目的事業管理用PC（公益目的保有財産）	950,653
		パーソナルコンピューター関連	会員管理・事業管理用	1,549,425
プリンター・複合機 3台		会員管理・事業管理用	619,631	
Web会議用備品一式		会員管理・事業管理用	37,048	
	プロジェクター	会員管理・事業管理用	15,207	
	電話設備	会員管理・事業管理用	816,084	
	ソフトウェア		公益目的事業管理ソフト (公益目的保有財産)	26,400
固定資産合計				106,047,894
資産合計				364,557,174
(流動負債)				
	未払金	経費等未払額		18,428,613
	未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		3,561,400
	前受金	次年度事業前受金		14,060,000
	預り金	社会保険料		803,946
		その他		351,998
	賞与引当金	職員に対するもの	職員の翌年度賞与支給見込額のうちの当期対応額	6,633,380
流動負債合計				43,839,337
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	3,185,257
固定負債合計				3,185,257
負債合計				47,024,594
正味財産				317,532,580

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記 2 に記載している通りである。

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
賞与引当金	3, 733, 181	6, 633, 380	3, 733, 181	0	6, 633, 380	
退職給付引当金	2, 578, 907	606, 350	0	0	3, 185, 257	